講習の名称：新しい時代像―平安時代を中心に―
担当講師：藤森　健太郎（教育学部教授）
講習開講日：平成 28 年 8 月 21 日（日）
時間数：6 時間

主な受講対象者：
日本史を担当する中教諭、日本史に関心の深い小教諭
キーワード：日本史，教科書，新説

講習の概要：
　考古学上の新発見には枕詞として「教科書を塗り替える」、古い通説への批判を込めた称号「教科書的理解」。実際には、今使われている教科書や指導要領の記述は新しい歴史学の成果から見るとどんな評価になるでしょうか。こんな疑問を手がかりに議論を進め、結果として日本史研究の新潮流に触れられるようにしたい思います。ただし、ここでは主に平安時代を中心に検討します。

講習の展開：
　第 1 時限　「教科書を塗り替える」新説の虚実
　第 2 時限　　実際に教科書が変わった例
　第 3 時限　　個々の事実だけが塗り替えられるのではない
　第 4 時限　　歴史の「事実」「真実」「評価」と教育

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：
　中学校～高等学校の教科書レベルの日本史、特に平安時代の知識が前提となります。

授業の形式：基本的に講義形式

履修認定試験：
　論述形式の筆記試験（ノートと配付資料は持ち込み可）。

テキスト・参考文献：
　特になし。